

●障害福祉サービス事業所の立場から

全国精神障害者地域生活支援協議会「あみ」田中直樹

田中直樹（たなか なおき）

NPO 法人全国精神障害者地域生活支援協議会「あみ」事務局長

NPO 法人あおば福祉会（東京都杉並区）

- 【学 歴】 1984 年 日本福祉大学社会福祉学部卒業
2013 年 国際医療福祉大学大学院医福祉学研究科修士課程修了
- 【職 歴】 1984 年～ NPO 法人あおば福祉会勤務
2007 年～ 日本福祉大学社会福祉実習指導担当講師（非常勤）
- 【団体等での活動】
1997 年～ NPO 法人全国精神障害者地域生活支援協議会「あみ」事務局長
2007 年～ 一般社団法人精神障害者地域生活支援とうきょう会議運営委員
2006 年～ 杉並区地域自立支援協議会委員
- 【資 格】 精神保健福祉士（相談支援専門員、介護支援専門員）

NPO法人あおば福祉会の取り組み（１）



【経緯】

- 1982年8月 杉並家族会により作業所活動が始まる。
（週1～2回）
- 1984年9月 週5日開所に。名称「杉並共同作業の会」
- 1985年度～ 東京都の補助対象に。
名称「あおば作業所」
（以後、作業所4所、グループホーム2所に増設）
- 2008年度～ 障害者自立支援法による事業に移行。
運営主体のNPO法人化（あおば福祉会）

NPO法人あおば福祉会の取り組み（２）



- リブレ（就労継続支援B型：定員40名）
・アミーカ ・ティーカ ・ラディーコ
- パルテ（就労継続支援B型：定員40名）
・あおば作業所 ・エンディバー ・フルール
- あおばケアセンター
・相談支援部門
（障害者相談支援（特定、一般）、居宅介護支援）
・居住支援部門（グループホーム：定員9名、
ショートステイ（杉並区単独事業））
・地域交流室「エルブ」 ※独自事業
WITH（ホームヘルプ事業）

NPO法人あおば福祉会の取り組み（３）



事業の運営や拡張において大切にしてきたこと

- ・サービスを提供する側・される側ではない
- ・活動の内容や形態について、
理事者や職員があらかじめ決めない
- ・新しい事業をはじめるときは、
そこで活躍するであろう具体的な人物や空間
を想像しながら行うこと

- 事業は、利用者・職員・理事者が共同でつくるもの
- 活動の主体（主役）は利用者（メンバー）であること

全国精神障害者地域生活支援協議会「あみ」

（1997年7月結成）

- ・全国各地で展開されている日常生活の支援、就労の支援などの活動の「点」と「点」を結ぶネットワークづくり。
- ・そこから見出されてくる実践や課題、必要な取り組みを国の施策に反映。
- ・精神障害者の地域での生活をより「居心地よく」「あたりまえ」のものにするための活動。

- 「あみ」の由来
- ・「ネットワーク」の網
 - ・「ニット」の編み
 - ・フランス語で「ami」は友達

